

右の3種類の野鳥は、県内でよく見ることのできる鳥です。見たことはありませんか。鳴き声を知っていますか。



トビ



コサギ



ヒヨドリ



県鳥のホトトギス

左の鳥は、初夏にかけて南の地域から渡来し、日本で繁殖し、秋に南へと帰る夏鳥です。「キョツ、キョツ、キョ、キョ、キョツ」と鳴き、ウグイスなどの巣に卵を産み、ウグイスにヒナを育てさせるという特徴的な習性をもっています。

その昔、崇徳上皇は五色台でホトトギスの鳴き声に心を動かされ、名歌を残しています。また、ホトトギスは毛虫などの害虫を好んで食べるので、有益な鳥として大切にされています。これら歴史的なゆかりと有益な鳥であることから、ホトトギスは香川県の鳥「県鳥」として指定されています。

1970年（昭和45）年から2003（平成15）年までに県内で確認されている鳥類は、299種類と言われています。讃岐山脈をはじめ各地の山々には、留鳥りゅうに加えてホトトギスのような夏鳥やツグミのような冬鳥が渡来します。また、ため池には冬期に各種のカモ類が渡来したり、海岸沿いの干潟には、チドリやシギなどの旅鳥が渡りの中継地として渡来したりしています。

県内の多様な自然環境のもとで、種類ごとに適した季節と環境を選んで生息する鳥類を調べることは、ふるさとの環境を知る1つの手がかりとなります。

香川県内で野鳥がよく観察できるポイントと、見ることのできる野鳥を紹介します。

### ① 栗林公園 (高松市栗林町)

園内には、メジロ、シジユウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラなどの野鳥を観察できるスポットがたくさんある。池では、カワセミや、冬にはマガモ、アオサギも観察できる。



カワセミ

### ② 琴平山 (琴平町)

夏にはアオバズク、オオルリ、キビタキ、ヤブサメ、サシバなどが見られる。冬にはノスリ、ハイタカ、ルリビタキ、クロジ、アトリ、ウソ、キクイタダキなどが見られる。



アオバズク

### ③ 寒霞溪 (内海町)

初夏の「表十二景」の散策道ではオオルリ、センダイムシクイ、ヤブサメが、「裏八景」の散策道ではクロツグミ、サンコウチョウなどが見られる。



オオルリ

### ④ 国市池 (高瀬町)

冬にはマガモ、コガモ、ヒドリガモなどのカモ類が、1年を通してカルガモ、ミサゴ、カウウなどが見られる。隣の勝田池も同様である。



カルガモ

**⑤新川河口**  
(高松市春日町)

新川と春日川が河口で合流している干潟地ではチュウシャクシギ、シロチドリなどの旅鳥が、また冬にはヒドリガモ、スズガモなどのカモ類が見られる。



ヒドリガモ

**⑥峰山**  
(高松市峰山町)

夏にはオオルリ、キビタキ、センダイムシクイ、ヤブサメなどが見られ、冬鳥も多く見られる。桜並木ではミヤマホオジロ、ルリビタキ、ウソなどが見られる。



ミヤマホオジロ

**⑦田村池**  
(丸亀市田村町)

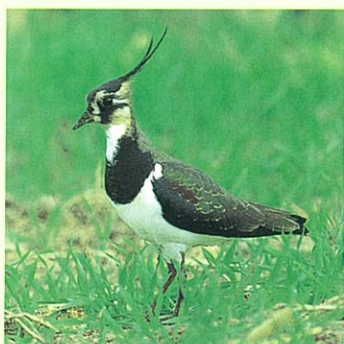
冬にはホシハジロなどのカモ類が、1年を通してセグロセキレイ、カイツブリ、サギ類などが見られる。また、隣の太井池のヨシ原では、クイナなどが見られる。



ホシハジロ

**⑧三豊干拓**  
(観音寺市柞田町)

観音寺市から大野原町、豊浜町にかけて広がる遠浅の海岸を埋め立ててできた地域で、セキレイ類、サギ類が見られるほか、冬にはタゲリ、タヒバリなどが見られる。



タゲリ

**⑨内場池**  
(塩江町)

県内では珍しいヤマセミが見られる。冬にはオシドリ、マガモなどのカモ類が見られる。春から夏にかけてはキビタキ、オオルリ、サンコウチョウなども見られる。



ヤマセミ

**⑩余木崎**  
(豊浜町)

愛媛県との県境にある小さな岩場であり、夏にアオバトが、冬には海上でクロガモ、ビロードキンクロ、ヒドリガモなどが見られる。



アオバト

**⑪湊川河口**  
(東かがわ市白鳥)

春と秋にはチドリ類が、冬にはヒドリガモなどのカモ類やユリカモメなどのカモメ類の大群が見られる。近くにある白鳥神社では、アオバズクが見られる。



ユリカモメ

**調べてみよう**

みなさんが暮らしている地域では、どんな野鳥を見つけることができますか。観察ポイントに出かけて観察してみましょ。見つけた野鳥の特徴(色、鳴き声、見つけた季節など)を調べましょ。鳥類図鑑と双眼鏡を持っていくと一層観察が充実します。

また、野鳥はすべて保護されており、勝手に捕まえたり飼ったりしてはいけないことも覚えておいてください。